

みんなで育てる
こども夢プラン

第2章 実施計画

| | | |
|-----|-----------------|----|
| 第1節 | みんなでこどもと子育てを応援 | 14 |
| 第2節 | 安心・安全な出産・子育てを応援 | 17 |
| 第3節 | 子育て家庭をきめ細かくサポート | 25 |
| 第4節 | 配慮が必要なこどもと家庭を支援 | 39 |
| 第5節 | 次代を担うこどもの成長を支援 | 47 |
| 第6節 | こどもを守りはぐくむ地域を応援 | 63 |



めざす姿

県民一人ひとりが、子どもを社会の宝として大切にし、地域社会全体に子どもと子育てを応援する機運が満ちあふれ、実践しています
生活と仕事と子育ての調和が実現し、男性と女性がともに子育てを担っています

現状と課題

家庭生活や子育てに関する経験や知識が少なく、子育てに不安や負担感を持つ親や、核家族化や地域連帯の希薄化、コミュニケーションの不足等により、孤立する親が増えています。子育てに悩みや不安はつきものですが、周囲の温かいまなざし、ちょっとしたアドバイスや手助けで軽減されることも多いものです。子どもを持った人が安心して「親」としてスタートでき、子どもがのびのびと成長できるよう、県民一人ひとりが子どもと子育てを応援する意識を持ち、それを実践する地域社会づくりが求められています。

本県では、経済6団体、(財)ひろしまこども夢財団¹及び県により設立したこども未来づくり・ひろしま応援隊²が中心となり、企業やNPO、医療関係者など多様な主体が理念を共有し、それぞれの強みを活かして、子育て当事者の声を聞きながら協働で子育てを応援する「広島県方式“みんなで子育て応援”」の取組を進めており、子育て当事者が「みんなが応援しているよ」というメッセージを実感できるような、親子で出かけやすいまちづくりや地域ぐるみの子育て応援の機運が広がりつつありますが、これらの取組を更に進めることが必要です。加えて、子どもが将来に夢や希望を抱き、地域社会の一員としての自覚を持って心身ともに健やかに成長できるよう、県・市町・教育機関・家庭・地域・企業・NPOなどが一体となって子どもを応援する活動を展開することが重要です。

また、共働き世帯が過半数となるなど、人々の働き方が多様化していますが、出産を機に退職した女性の約3割がその理由として仕事と育児の両立の難しさを挙げており、一方、子育て期の父親は、長時間労働などにより家事や育児を担う時間が短く、母親に負担がかかりがちな状況にあります。

女性が就業継続できる環境の整備や男性の働き方の見直しなどを行い、男女ともに希望するバランスで仕事と子育てができるよう、ワーク・ライフ・バランスを推進することが重要な課題となっています。



1 財団法人ひろしまこども夢財団：次代の担い手となる子どもの健やかな成長を願い、県民福祉の向上等を目的として設立された財団法人。安心して子どもを産み育てることができる環境づくりと出産・育児等にあたる子育て家庭への支援事業を実施している。

2 こども未来づくり・ひろしま応援隊：社会全体で子どもと子育てを応援する機運の醸成を図るため、平成18(2006)年11月に広島県商工会議所連合会、広島県商工会連合会、広島県経営者協会、広島県中小企業団体中央会、広島県経済同友会、広島県中小企業家同友会、広島県、ひろしまこども夢財団の参画で結成。企業等を中心とした多様な主体の協働による子どもと子育てにやさしい取組を推進している。

取組の方向

(1) 広島県方式“みんなで子育て応援”の推進

県民一人ひとりが、地域の子どもの誕生を知り、成長を喜び、子育てを応援する意識を持ち、子どもと子育て応援が実践できるようキャンペーンなどを通して啓発を行います。

「広島県方式“みんなで子育て応援”」の取組が更に広がるよう、企業やNPO、子育て支援者などの取組を支援するとともに、協働のきっかけづくりを行います。

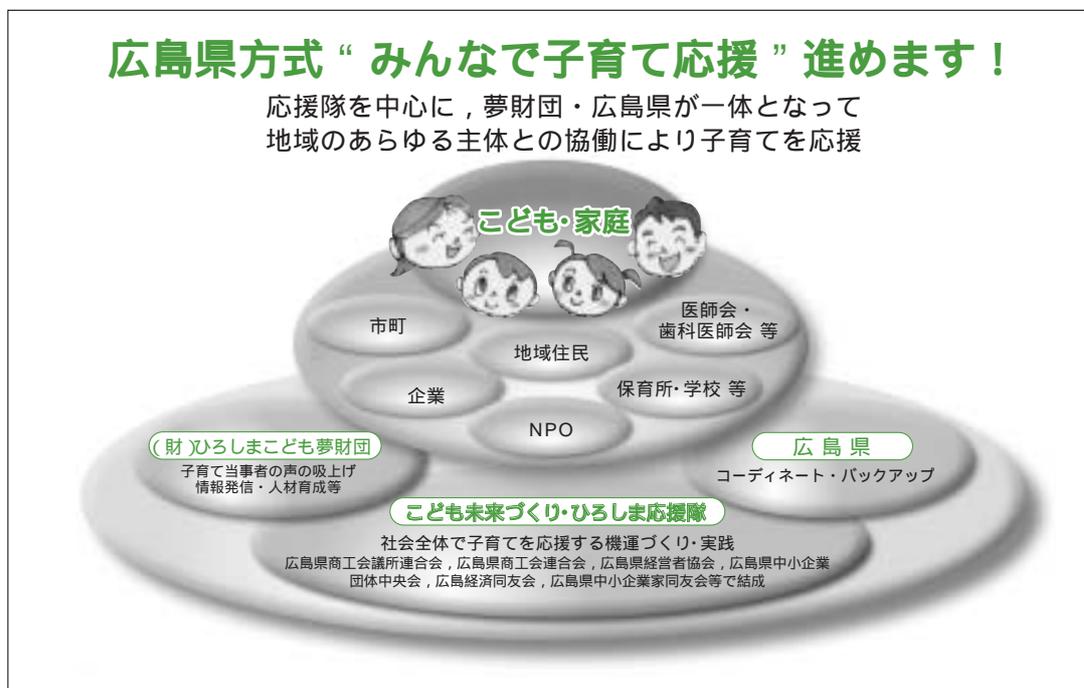
(財)ひろしまこども夢財団と連携し、ホームページや携帯サイトによる子育て関連情報の一元化を図るとともに、Kids情報送信サービス³を充実させ、情報が確実に届く体制を整備します。

地域の子育て支援人材や、協働をコーディネートするキーパーソンの育成を進めるとともに、子育て中の人がある持つ力を発揮し、地域の一員として活躍できるような取組を進めます。

子育て中の人との意見交換会やKids情報送信サービスのアンケート機能等を活用して当事者の声を聴取し、実効性のある子どもと子育て応援の取組を推進します。

地域におけるきめ細かな子育て応援を推進するための市町の取組を支援します。

児童福祉及び社会的養護の必要な児童に対する権利擁護や地域社会の支援の必要性について、「児童福祉月間」、「里親推進月間」及び「児童虐待防止推進月間」を中心に広報するとともに、参加型の事業を織り交ぜた啓発を継続して行い、社会意識の醸成を図ります。



(2) 男女共同参画の推進

出産前後から、男性と女性が協力して、家族の一員として家事・育児などの責任を果たせるよう、当事者を始め県民や企業等への多様な啓発を行います。

従業員の意識改革やスキル向上に取り組む企業等と連携して男性の育児を支援します。

(3) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

仕事と生活の調和の実現に向けて、広報等を行い、県民一体となった機運の醸成を図ります。

³ Kids情報送信サービス：財団法人ひろしまこども夢財団が実施している会員制(無料)のサービスで、主に小学生以下の子どもの保護者等を対象に、携帯電話のメール機能を活用して、子育てに役立つ情報を無料で送信するもの。

(4) 子どもの健全な育成の推進

毎年11月の「全国青少年健全育成強調月間」において、市町、(社)青少年育成広島県民会議を始めとする関係団体とともに、各種事業を集中的に実施することにより、青少年育成県民運動の充実と定着を図ります。

コミュニケーションの第一歩である「あいさつ」や「声かけ」を、家庭・学校・地域・職場で大人が率先して行う運動として、(社)青少年育成広島県民会議や市町等と一体となって展開し、子どもの健全育成に努める土台をより強固にします。

主要事業及び達成目標

| 事業概要 | 指標 | 現 状 (平成21(2009)年度末) | 目 標 (平成26(2014)年度末) |
|--|------------------------------------|------------------------|------------------------|
| 県民の子育て応援意識の醸成 ・キャンペーンなどの実施により、県民の子どもと子育てを応援する意識を醸成 | - | - | - |
| 親子で出かけやすい環境づくり ・子どもと子育て家庭にやさしいサービスを提供する企業・店舗等を登録・PRすることにより、親子で出かけやすい環境づくりを推進 | 子育て応援イクちゃんサービス ⁴ 実施事業所数 | 2,816店舗 | 5,000店舗 |
| 地域ぐるみの子育て応援の推進 ・NPOを中心とした、多様な主体の協働による子育て応援の取組を支援 | - | - | - |
| 男女共同参画社会づくり ・男女共同参画に関する理解を深めるための広報・啓発 | - | - | - |
| ワーク・ライフ・バランスの推進 ・仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向けた機運を醸成するための広報・啓発 ・男女が共に子育てを担うための意識啓発や男性の子育てスキル向上のための取組への支援 | - | - | - |
| 地域ぐるみの青少年育成活動の推進 ・市町、青少年育成関係団体等と連携し、あいさつ・声かけ運動を始めとした地域ぐるみの青少年育成県民運動の推進 | - | - | - |

4 子育て応援イクちゃんサービス：こども未来づくり・ひろしま応援隊が親子で出かけやすい環境づくりを目指して実施している、子どもと子育てにやさしいサービスを提供する事業所等を普及していく事業のこと。